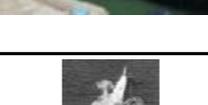
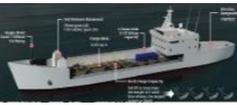


整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -192	2017/5/1	Plastics Threaten the Ocean (YouTube)	プラスチックが海を脅かす (YouTube)	Proceedings 2017/5/1	 プロシーディングス誌記事のYouTube版、第3弾です。下のURLをクリックして視聴できます。 https://youtu.be/uikqJLJb9Mw	岩崎洋一
2023 -193	2023/9/26	DoD Acquisition Chief Seeking Regulatory 'Nirvana' in Crafting AUKUS Deal	国防総省の取得責任者はAUKUSの調達で条項の「ナーヴァナ(涅槃)」を模索する	USNI Nwes 2023/9/26	 AUKUSの原潜協定は1960年代の米英間のポラリス売却協定を参考にして進めるべきだという議論です。原子炉技術の共有に関して、セキュリティ保全の話も含め、極めて複雑な規制が存在するようです。	岩崎洋一
2023 -194	2023/9/28	Royal Navy Demonstrates Experimental Vessel Patrick Blackett Capabilities At REPMUS	英海軍、REPMUSで実験艦Patrick BlackettによりREPMUSとしての能力を展示	Naval News 2023/9/28	 米海軍だけでなく英海軍も「無人艦」を建造して様々な試験を行っていました。「無人」という言葉をこれらの船舶によく用いますが、「無人船」には必ず乗員がいます。「自律的航行」を行っている際でも機器の監視、必要な際に人員が操船などをするためです。そうした意味では現在存在する「無人船」は実は「有人自律航行船」なのです。英海軍の無人艦には艦長がいます。	佐々木司
2023 -195	1962/8/1	Polaris Test Ship	ポラリス・ミサイル試験艦	Proceedings 1962/8/1	 ポラリス水中発射弾道ミサイルの開発で、初めのうちは水上艦が発射用の試験艦として使われていました。61年前の、プロシーディングス誌1962年8月号から。	岩崎洋一
2023 -196	2023/9/28	Taiwan Unveils Its First Indigenous Defense Submarine	台湾、初の国産防衛潜水艦を公開	Naval News 2023/9/28	 台湾が「国産」潜水艦の命名式を行いました。主要装備品は海外製品を多く取り入れているものの、国産潜水艦を建造できることは台湾の艦船建造技術の高さを感じます。それ以上に、この潜水艦が代替となる現役潜水艦が第2次世界大戦で使用した米海軍の供与潜水艦で、まだ現役で使用されていることには驚かされます。艦齢約80年とのことです！	佐々木司
2023 -197	2022/10/1	The rising of naval directed energy laser weapons?	海軍指向性エネルギーレーザー兵器の台頭?	EDR 2022/10/1	 最近、ドローン等による廉価武器の大量攻撃が盛んに行われています。このような攻撃に対処するために、数十年前からレーザーやマイクロ波などの指向性エネルギー兵器 (DEW) の開発が各国で行われてきました。特に、固体レーザー技術の急進歩により、開発競争が激しくなっています。紹介する記事は去年の記事ですが、現在の開発競争の状況を追いかけるには良い記事と思い、紹介します。	清水隆
2023 -198	2023/10/9	SINKEX: Turkiye Demonstrates Swarm Of Kamikaze USV Capabilities	撃沈訓練:トルコ、カミカゼUSVの大群をデモンストレーション	Naval News 2023/10/9	 ウクライナが自爆型USVを活用して戦果を挙げていますが、トルコも負けじと強力な自爆型USV、その名もAlbatros Kamikazeを開発し、試験を行ったようです。40ktの高速で突入、RCS,IRシグネチャが低く探知迎撃困難とあり、このようなUSVに大群で同時異方向から突入されると、大型艦船と言えども無事では済みません。写真からその威力がわかります。	佐々木司
2023 -199	2023/10/12	Congressional Commission Calls for Third Nuclear Shipyard to Bolster U.S. Strategic Forces	米議会委員会、米戦略的兵力強化のため第3の原子力潜水艦建造造船所を要求	USNI News 2023/10/12	 米国議会が国内での原子力潜水艦建造遅延やAUKUS合意に基づく新たな原潜建造に対応するためには現在の2社建造体制では建造能力が不足するため、新たにもう1か所建造基盤が必要であるとの要求を取りまとめたようです。わが国でも、かつて、もし豪州向けに「ごうりゅう」を受注することになっていれば同じような問題が生じていたのではないかと思います。	佐々木司
2023 -200	2023/10/17	Pentagon Extends USS Gerald R. Ford Deployment, Will Move U.S. Marines Closer to Israel	米国防総省は「ジェラルド・R・フォード」展開配備を延長し、海兵隊をイスラエルに近づける	USNI News 2023/10/17	 一昔前であれば、このような行動は意味があったのですが……。米海兵隊ははたして、この地域で上陸して作戦できるでしょうか？	岩崎洋一
2023 -201	2023/10/18	ADEX 2023 - Hanwha unveils an all-unmanned concept carrier	ADEX 2023 - ハンファ、完全無人コンセプトキャリアを発表	European Defence Review 2023/10/18	 何か、色々な技術の良い所取りをしたような艦ですが、奇想天外と言い切ることも出来ないと思います。こういう提案が今の日本に出来るのでしょうか。(恐らく手の内を知られたくないので、検討はしているけど、黙っているだけだと思います。)	川原梅三郎
2023 -202	2023/10/1	Fighting Submarine Maintenance Bottlenecks	潜水艦メンテナンスにおけるボトルネックとの戦い	Proceedings 2023/10/1	 米海軍の潜水艦メンテナンスの問題に対する論説です。潜水艦に限らず、艦船のすべての検査修理工事に当てはまる内容だと思います。プロシーディングス誌10月号から。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -203	2019/8/27	Xpeller – Dangerous high flyers	Xpeller – 危険なハイフライヤー	HENSOLDT 20219/8/27	 ドイツのHENSOLDT社の広告情報で、技術的な内容ではありませんが、ドローン・UAVに対する、電波を用いたソフトキルの対抗措置を提供する装置の紹介です。ウクライナでの戦闘以降、各種無人機の脅威が非常に高まっています。しかし、ハードキルの対抗手段のみに依存していると、複数機が同時来襲した場合、対処能力が飽和してしまう恐れがあります。ハードキルを否定するつもりは毛頭ありませんが、今後はソフトキル手段も併せて、考慮していく必要があるでしょう。USVも操船制御のほか、機関等の制御・点火系統にも電子制御が多用されているので、電波妨害等で動力源に直接的な打撃を与えることも可能かもしれません。	本山泰之
2023 -204	2023/10/23	PM backs ship-for-sub swap	首相、艦船と潜水艦の交換を支持	BANGKOK POST 2023/10/23	 中国のタイ海軍向け潜水艦建造に関する最新情報です。直近の議論の経過について、全く情報がありませんでしたが、潜水艦調達を水上艦調達に転換するという結論のようです。最終的な契約上の方針決定までには、縷々タイ国内の議論が続きます。しかし、70年以上の運用ブランクの後の調達において、実績ある希望の機関が搭載できないことに対して、受領を拒否したことは適切な判断だと思います。一方で、潜水艦運用に際して、タイが先行投資した分に対する、中国政府の補償は必要ないのでしょうか？また、ドイツ政府がこの局面において、禁輸措置を取ったことも、大きな疑問が残るところです。本件は、経済安全保障を研究するうえで格好の勉強材料である事例であることは、間違いありません。	本山泰之
2023 -205	2000/7/31	Electric-Drive Propulsion for U.S. Navy Ships: Background and Issues for Congress	米海軍艦船の電気駆動推進：議会の背景と課題	Congressional Research Service 2000/7/31	今から20年以上前の米国議会調査局による「米海軍艦船の電気駆動推進」に係る背景と課題が詳細に記載されており、引用文献も豊富に列記されている。ズムオルト級は当初から様々な先進技術により注目されたものの建造費高騰等により3隻で打ち切りとなり、また、他艦種においても機械推進から電気推進への移行が想定どおりなされなかった。電気推進を装備化するためには電動機と同じレベルで各種構成機器の検証が必要であり、特にドライブシステムは重要な要素である。本報告書ではドライブシステムはほぼ内容として抜けている感はあるが、基本的かつ詳細な調査内容を議会に提出している米国はやはり偉大である。ページ数が多いため従来の様式から逸脱して抄訳のみとしている。	工藤悟
2023 -206	2023/10/16	Draft Proposal for ‘Affordable’ Medium Landing Ship Out to Shipbuilders	「手頃な」中型揚陸艦の草案が造船会社に提出される	USNI News 2023/10/16	 米海軍が計画中の中型揚陸艦の仕様が見えてきました。当初は艦首または艦尾にランプ装備し、ビーチングできる案がありましたが、現段階では港に横付けしてロールオン／オフする仕様になっているようです。想定している島伝いの運用で各島に横付けできる岸壁等があればよいのですが、横付けできない島には人員装備の輸送を想定していないのでしょうか？	佐々木司
2023 -207	2023/10/25	US Navy LCS Successfully Fires SM-6 From MK 70 Payload Delivery System	米海軍LCS、MK70ペイロード・デリバリー・システムからSM-6の発射に成功	Xavier Vavasseur 2023/10/25	 HS甲板に搭載したコンテナ発射システムからSM-6を発射、実験は成功裏に終了したようです。長さ40ft (12m) のコンテナであれば、FFM、哨戒艦などにもコンテナだけは、搭載可能です。	川原梅三郎
2023 -208	2023/10/25	USS Marinette Stuck in Lake Erie As St. Lawrence Seaway Workers Strike	USS Marinetteがエリー湖で立ち往生、セント・ローレンス海路の労働者がスト	Naval News 2023/10/25	 ミシガン湖のMarinette造船所で就役したLCSが大西洋に向け航行中、エリー湖、オンタリオ湖とセント・ローレンス川を結ぶ海路の労働者によるストライキのため立ち往生しています。Marinetteで建造するLCSは大西洋に出るまで約1500マイルを航行しなければなりません。冬には海路凍結の恐れもあり、LCSのみならず同じ造船所で建造するFFGも同様の懸念は続きます。	佐々木司
2023 -209	2023/10/31	The Deadly Storm that Ambushed the US Navy in WWII: Typhoon Cobra	第二次世界大戦中に米海軍を襲った死の嵐：タイフーン・コブラ	Youtube channel ”The Big Old Boats” 2023/10/31	 1944年12月に生じた米海軍の台風による大被害です。駆逐艦3隻が沈没し、軽空母にも甚大な被害が出ましたが、実はこれらの艦は設計上の復原力不足問題をばらんでいた上に、洋上給油直前で燃料庫量が極端に減っており、さらに復原性が悪くなっていたようです。そこに巨大な台風が直撃し大被害が出ました。当時の日本人はこの「神風」を全く知りませんでした。	佐々木司
2023 -210	2023/10/30	Japanese Warships Keeping Tabs on Chinese Carrier Strike Group	日本艦艇が中国空母打撃群の監視を続ける	Dzirhan Mahadzir 2023/10/30	 小生が海上自衛隊に入った頃(45年前)には想像もできなかった事態が現出しています。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -211	2023/10/30	MBDA Deutschland provided new details on the Laser Weapon Demonstrator developed in cooperation with Rheinmetall and recently tested by the German Navy	ドイツNBDAは、ラインメタル社と共同して開発し、ドイツ海軍で試験されたレーザー兵器の実証機の新情報を提示	European Defense Review 2023/10/30	 ドイツ海軍もレーザー兵器の試験を順当に進めているようです。記事からは具体的な仕様・要目等は分かりませんが、20ftコンテナ装備の海上試験が終了したというのは、結構な段階に来ているのではないかと推料します。装備庁も令和5年まで研究試作と所内試験を実施し、野外試験は成功したようですが、早く開発に移行して貰いたいものです。	川原梅三郎
2023 -212	2023/10/1	Vertical Launch Systems Evolve	垂直発射システム(VLS)の進化	Proceedings 2023/10/1	 Proceedings誌10月号から、「VLSの進化」です。次のURLをクリックすればYouTubeでリアルな映像とともに視聴できます。 https://youtu.be/YRptBzvvpPk	岩崎洋一
2023 -213	2023/10/16	Killing submarines by drone	ドローンで潜水艦を撃破	NAVY LOOKOUT 2023/10/16	  英海軍における無人機の実証実験の続報です。前報は空母向け輸送等固定翼機でしたが、今回は対潜魚雷をも搭載・投入できる、回転翼機の動向です。我が国も、内燃機関を動力とした無人対潜ヘリコプターDASHを運用した経験がありますが、英国の今回の無人機は、蓄電池・モーター駆動の機体で構成されています。これを実現できたのは、約60年間の各種の技術的進歩の恩恵と言えます。英海軍の各種無人機に対する一貫した姿勢は、既存民生技術を最大限活用しようとしている点だと思います。この手法の利点は、装備化が早いほか、よく分析していこうと思います。一方で、維持部品の長期的安定供給などが課題になりそうですので、継続的な技術的フォローが必要なことは覚悟すべきでしょう。	本山泰之